

緩和ケア科



診療科紹介 HP

診療部長紹介

診療部長の橋口さおりです。鳥取大学を1990年に卒業し、慶應義塾大学病院麻酔科に入局して研鑽を積みました。1997年よりペインクリニック専従、2000年に緩和ケアチームを立ち上げ、2013年から同病院緩和ケアセンター長を経て、2021年に当院に赴任しました。痛み診療が専門で、オピオイドだけでは解決しない難治性疼痛について、当院ペインクリニックや川崎市立多摩病院緩和ケア内科と協働して対応しています。またサイコオンコロジーを専門とする精神科医が在籍していますので、からだやこころのつらさを持つ患者さんに幅広く対応いたします。なお、当科では入院床を持たないため、入院が必要な患者さんについては適切な診療科をご紹介しますので、ご了承ください。



診療部長

橋口さおり (主任教授)

診療科の特色

国が指定する地域がん診療連携拠点病院であるため、2019年に緩和ケアセンターが開設されております。当院では主にがん患者さんを対象として、緩和ケアの診療に加え、がん看護外来・地域の医療機関との連携調整を図っております。特に当院は病診・病病連携に力を入れており、地域の医療機関と月1回カンファレンスを開催し、情報の共有をはかっております。

患者さんのご紹介について

 **聖マリアンナ医科大学病院**
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL

 044-977-8111 (代表)

紹介受付時間：平日 8:30～15:00
土曜 8:30～11:00

 044-975-0608

医療機関からのWEB予約サイトはこちら



 聖マリアンナ医科大学病院
患者さんの紹介について

お問い合わせ先：メディカルサポートセンター



当科では、がん患者さんだけでなく…

緩和ケアチーム以外の多職種で連携し、心不全などの非がん患者さんに対してもあらゆる疾患の苦痛に対する症状緩和も行っております。

○診療内容

からだの症状

- ・ 病気や治療に伴う痛みや痺れ、息苦しさ など

精神症状

- ・ 不安や不眠、抑うつ など

※当科の診療は、外来通院となります。初診外来では、便宜上、外来を「からだ」と「こころ」に分けて対応させて頂いておりますので、ご予約の際にご用命をお願いいたします。

○緩和ケアセンター○

医師・看護師・薬剤師・心理士・栄養士・理学療法士・ソーシャルワーカーなど、様々な職種が連携して緩和ケアに関する切れ目のないチーム医療を提供してまいります。

☐ 緩和ケア外来

入院時に緩和ケアチームが関わった患者さんを中心に、オピオイド投与量の調整や精神的サポートを行ってゆきます。

☐ がん看護相談外来

入院時から関わっている患者さんやご家族、外来患者さんの苦痛に対して、緩和ケアセンターの看護師が対応いたします。患者さんの要請に応じて、サポートを継続して行なってゆきます。

2025年5月より、がん患者のオピオイド誘発性悪心・嘔吐に対するナルデメジンの予防効果を検証する多施設共同無作為化プラセボ対照二重盲検試験に参加予定となっております。